

平成二十二年度予算について

学校法人東京理科大学理事会

本法人は、研究拠点としての役割に重点を置いた大学を目指すことを明確にし、そのための環境整備及び教育・研究環境の改善に向け、ゆとりあるキャンパス整備に取り組んでいます。このゆとりあるキャンパスの実現に向け、平成二十年度には、葛飾区に土地を求め、平成二十五年四月の開設を目指し、葛飾校舎の整備を推し進めています。平成二十二年度には、改修が完了した神楽坂地区既存校舎の使用を本格的に再開し、大学会館が竣工するなど、神楽坂地区の整備が一段階進むこととなります。

平成二十二年度予算は、これらの事業計画及び健全経営の理念に基づき、次のことを重点項目として盛り込むこととしました。

- (一) 葛飾校舎建築計画
 - (二) 神楽坂地区再構築計画
 - ① 大学会館（新築工事・機器備品費・移転費）
 - ② 一・七・八・九号館関係（改修工事・機器備品費・移転費）
 - ③ 仮移転用教室等関係（賃借料・現状復帰工事・移転費）
 - ④ 九段校舎改修工事
 - ⑤ 新2号館近隣開発費等
 - (三) 野田地区整備事業
 - ① 再生工学研究施設新築工事
 - ② 研究室改修工事
 - ③ 校舎外壁改修工事
 - (四) 神楽坂・野田・長万部地区のICカードシステム導入計画
 - (五) 教務系システム（GAKUEN）のバージョンアップ計画
 - (六) 研究開発プロジェクト
- 〔新規〕
- ① グリーン&セーフティ研究センター
 - ② 戦略的物理製剤学研究基盤センター

③ RNA科学総合研究センター

〔継続〕

① がん医療基盤科学技術研究センター

② 界面科学研究センター

③ ポリスケールテクノロジー研究センター

④ 量子生命情報センター

⑤ ナノ粒子健康科学研究センター

⑥ キラルマテリアル研究センター

(七) 右記(六)を文部科学省が行う「学術研究高度化推進事業」及び「戦略的研究基盤形成支援事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金(特別補助)を予算措置することとします。